『夜明け前 呉秀三と無名の精神障害者の100年』
上映＆シンポジウム in おおた

12月22日(土)　東京工科大学

ひるの部：午後3時～午後5時
よるの部：午後6時～午後8時

3号館10階階段教室
JR蒲田駅西口徒歩5分

人間の尊厳とはなにか― 2018年、日本の近代精神科医療の礎を築いた呉秀三が「精神病者私宅監置ノ実況及ビ其統計的観察」という著作にて、日本の精神障害者の人権状況について取り上げてから100年の節目を迎えます。
　今もなお突きつけられる問いかけについて、一緒に考えませんか？記録映画の上映と区内関係者らが登壇するシンポジウムを行います。

記録映画 夜明け前 66分
呉秀三と無名の精神障害者の100年



呉秀三（くれ しゅうぞう）は、明治大正期に東京大学医学部精神科の教授として、日本の近代精神医療の礎を築きました。彼は精神疾患の人々が「座敷牢」に押し込まれる実情を憂い、その解決のために奔走しました。その土台となった報告書『精神病者私宅監置ノ実況及ビ其統計的観察』を1918年に提起し、多方面へ働きかけました。それから1世紀の年月が過ぎた今、精神障害の問題はどうなっているのでしょうか？

記念映画制作委員会
　公益財団法人 日本精神衛生会
　きょうされん
　有限会社イメージ・サテライト
監督 今井友樹　ナレーション 竹下恵子
出演 岡田靖雄（「青柿舎」代表）
　　橋本 明（愛知県立大学教授）他



ひるの部



当事者、家族、医療者が語る
おおたの「夜明け」
●越智 祥太 さん（精神科医）
●川﨑 洋子 さん（家族会）
●山田 悠平 さん（当事者）

よるの部



病むとされる側から見た
「監置」と「精神病」
●兵頭 晶子 さん（歴史学研究者）

参加費



1,000円（資料代含む）
※障害者、学生は500円、中学生以下無料
※お申し込みは裏面をご覧ください。

主催：『夜明け前　呉秀三と無名の精神障害者の100年』上映＆シンポジウムINおおた実行委員会

後援：大田区、社会福祉法人　大田区社会福祉協議会、大田区自立支援連絡会、大田区障害者スポーツ倶楽部、大森医師会、田園調布医師会、おおた社会福祉士会、大田障害者連絡会、大田区障害者権利条例を作る会、大田区精神障害者家族連絡会、NPO法人福祉コミュニティ大田、NPO法人おおた市民活動推進機構、NPO法人ステップ夢、とちの実作業所、東京都大田福祉工場、プシケおおた賛助会、精神障害当事者会ポルケ

当事者、家族、医療者が語る おおたの「夜明け」

※開場 2時30分から お早めに入場を！

◎登壇者

◆越智 祥太（おちさちひろ）さん
千葉大卒。内科3年、港町診療所、久里浜病院、東京厚生年金病院、多摩あおば病院を経て、南晴病院で十年隔離拘束ない運営するも昨年退職となり、横浜のドヤ街にあることぶき共同診療所勤務。

◆川﨑 洋子（かわさきようこ）さん
日本社会事業大学大学院福祉マネジメント研究科卒。
職歴、朝日出版社編集部、こうじや生活支援センター施設長、全国精神保健福祉会連合会 理事長。
現職、東京都精神障害者家族会連合会副会長、大田区精神障害者家族連絡会、代表。

◆山田 悠平（やまだゆうへい）さん
大田区出身・在住。１９８４年生まれ。
精神障害当事者として活動する。
大田障害者連絡会、精神障害当事者会ポルケのそれぞれ代表を務める。他には、地域では、大田区自立支援協議会の相談支援部会、地域移行地域生活支援部会の部会のみ委員等。

会場案内図



JR蒲田駅 西口徒歩5分。余裕をもって早めに入場ください。
大学敷地内に利用できる駐車場、駐輪場はございません。
公共交通機関をご利用ください。

病むとされる側から見た「監置」と「精神病」

※開場 4時30分から　お早めに入場を！

◎登壇者

◆兵頭　晶子（ひょうどうあきこ）さん



歴史学研究者、日本社会臨床学会会員。大阪大学大学院文学研究科博士後期課程修了。博士（文学）。

著書に『精神病の日本近代｜｜憑く心身から病む心身へ』（青弓社、2008年）他多数。

◎インタビュアー
山田 悠平（やまだゆうへい）さん

お申込み

下記QRコード、もしくはFAX申し込みに明記のうえ送付ください。当日参加も可能ですが、定員を越える場合は入場をお断りする場合もあります。
収集した個人情報は本イベント事務手続きにのみ使用し、それ以外の目的に一切使用いたしません。



FAX申し込み（ 03-5700-4533 ）

代表者氏名	
電話番号	
参加人数	
時間帯	ひるの部 ・ よるの部
車いす使用の有無	有 ・ 無

主催：『夜明け前　呉秀三と無名の精神障害者の100年』上映＆シンポジウムINおおた実行委員会
連絡先：０３－５７００－４５３３（事務局　黒田）